

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和2年度 第6回横山地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所地域振興課本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時		令和2年12月14日(月) 19時30分～21時00分		
開催場所		横山公民館 1階 大会議室		
出席者	委員	13人(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	2人(本庁地域まちづくりセンター 所長、副主幹)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 議 題 (1) 令和2年度 横山地区まちづくりを考える懇談会の中止及び行政への地域課題の要望について (2) 地域活性化事業交付金を活用した事業について (3) その他 3 閉 会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(□は会長の発言、○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

吉田会長あいさつ。

2 議 題

(1) 令和2年度 横山地区まちづくりを考える懇談会の中止及び行政への地域課題の要望について

事務局より、新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる市の取組み状況等を説明し、まちづくりを考える懇談会の中止及び行政への地域課題の要望について検討を行った。

●現状では、新型コロナウイルスの第3波が到来している拡大局面にあり、市の事業は原則として3月末まで中止とすることが決定された。出席される委員の健康第一という判断で、中央区長から各地区の代表者にはまちづくりを考える懇談会の中止の要請をさせていただいている。すでに津久井地区まで7地区のまちづくりを考える懇談会は終了したが、それ以外の地区は中止の意向である。中央区では光が丘地区が、各委員に意見の照会をして全員一致で開催の中止が決定された。横山地区については、会場の広さの関係もあり、地域との共催では、人数的に密になるため万が一の場合を考え、できれば中止の方向でご検討いただきたい。

まちづくりを考える懇談会に向けて第5回まちづくり会議まで活発なご意見をいただいたが、懇談会が中止されても、検討した内容は次年度のまちづくりを考える懇談会へ繋げることや要望書として提出し関係部署と面会するなど別の手段で市に意見をしていくことも可能である。

ここまで検討した事項はぜひ十分に精査していただき、何らかの形で市関係部局へご提案いただければと思う。

□このような経緯もあり役員会においてもまちづくりを考える懇談会の中止を議題として挙げ、今回のまちづくり会議で委員に諮らせていただいた。

○今後の進め方について、長期的視点でまちづくり会議を見ていき今期にとらわれず、全体として要望書のような形でまとめてはどうか。

○要望書のメリットとしては懇談会であれば聞きたい事項が多いと散漫になりやすいが、要望書のような形で時間をかけて内容を検討すれば、ある程度まとめ方で伺いたいところを網羅できる。

今年度のまちづくりを考える懇談会は中止することが、委員の総意により了承された。

引き続き、まちづくり会議の検討テーマである「新しい生活様式の中、地区として対応する増設される風水害等避難場所など災害対策への地域の関わりについて」の課題検討を行った。

事務局から重点取組み事項の参考として「令和2年度横山地区まちづくり課題一覧表」に基づき、前回情報提供した各意見に対する対応や取組み状況の実施主体や進捗度、実現性など説明した。その後、各委員から項目別に意見交換を行った。

○おやま広報39号やさがみはら防災マップの紹介など随時この一覧表へ記載していく。防災に関する情報を委員の方からもいただきながら充実したものに仕上げていきたい。

○避難所に限定するのではなく、災害が起きた時の避難体制が安全な避難の在り方というところまで構築ができるのか。3軒隣組は重要な事項だが地域で取組む課題としては困難な面もある。他地域の事例など参考として長期的に検討していきたい。その中で、短期的には実際に取り組める黄色い小旗事業など地域活性化交付金を利用して全世帯に配布できれば良いと考える。

○黄色い小旗の単価、本数により金額的に複数年度での申請も必要ではないか。

○市のタイムラインは記述式であるが、必要項目をチェックする様式にすれば容易に利用できるのではないか。

○自宅が安全であれば、特に高齢者の方は普段から在宅避難を考えていただきたい。在宅避難に必要な災害用備品について、啓発が必要である。

○避難所のスペースの確保が、新型コロナウイルス感染症のため、4㎡必要となり、収容人数が1/3程度に限られてしまう。近隣での避難場所の確保が在宅避難を含め重要となっている。

○昨年度の台風19号（令和元年東日本台風）時、下九沢団地ではタオルに字を書いて窓から出し、避難状況を知らせていた。いざという時の個々の準備についてチラシ等で周知することが必要である。自分自身で常に災害時の対応を意識し、自分で自分を守る意識づけが重要である。

（2）地域活性化事業交付金を活用した事業について

事務局から、令和2年度地域活性化事業交付金の申請について、申請者の要件、事業実施の期間など募集の案内を行った。

（3）その他

特になし

3 閉 会

末永副会長あいさつ。

以 上

令和2年度横山地区まちづくり会議委員名簿

	団 体 等	氏 名	備 考	出欠
1	横山地区自治会連合会	吉 田 貴 亮	会 長	出席
2	横山地区自治会連合会	坂 元 俊 美		出席
3	横山地区社会福祉協議会	高 橋 年 廣	副会長	出席
4	横山地区社会福祉協議会	森 きん子		出席
5	横山地区連合自主防災隊	岩 瀬 弘 明		欠席
6	横山地区連合自主防災隊	吉 村 公 一		欠席
7	横山地区民生委員児童委員協議会	佐 賀 淳 司		欠席
8	横山公民館	末 永 暁 子	副会長	出席
9	横山地区老人クラブ連合会	長 沼 幸 江		欠席
10	相模原交通安全協会横山支部	茅 祐 司		出席
11	ボランティア横山	石 川 恭 子		欠席
12	横山小学校 PTA	松 岡 史 朗		出席
13	清新中学校 PTA	田 辺 大 輔		欠席
14	横山地区青少年健全育成協議会	北 川 春 恵		出席
15	青少年指導員	太 田 ゆかり		欠席
16	スポーツ推進委員	大 澤 千津子		出席
17	男性ボランティア横山ゼロツウ/テン	富 田 保 男		出席
18	防犯指導員	小 暮 勝 大		出席
19	健康づくり普及員	芦 野 まさ子		出席
20	保護司	山 石 三 男		欠席
21	横山こどもセンター	志 村 勝 巳		欠席
22	横山高齢者支援センター	杉 田 久美子		出席